

# 19年度 やしま学園高等専修学校予算案について

## 1、収入について

### 校納金（生徒納付金）について

3月末まで入学受けをしており、入学者は確定していません。また、併願者の戻りについても現時点ではわかりません。しかし、募集定員内規の20人には達するものと思われます。

19年度は府立高校の学区改編もあり、従来の受験が様変わりし、公立高校も統廃合を視野に競争が激化しています。府下の私学は外部募集する90校中3分の2が定員割れであり、19年度は従前の影響で専願が減少し、併願が増加しています。

なお、19年度より特別支援教育が実施され、今後ますます軽度発達障害の人々の通常学校への進学が増加すると思われる中で、可能な限り<sup>\*1</sup>広報につとめ<sup>\*2</sup>途中転入も入れ、募集定員の確保と拡大に努力します。

#### \*1 広報

教員数が限られ学問も限定されている為、学会で発表し、マスコミで取りあげてもらうことが最善と考えています。昨年は産経新聞とNHKが取材に来校しました。なお、NHKについては今後番組制作を検討されるそうです。

#### \*2 途中転入

これまでも通常学校に進学していますが、相当数の人が途中退学し、多くの方が通信制学校に編入学をされているようです。昨年、某通信制高校よりPDD(高機能広汎性発達障害)の人への対応について問い合わせがありました。今後は当校のもつ専門性を活かし、さらに発展的に考え一計を現在作成中です。

### 補助金について

府経常費補助金については確定時期が11月下旬であり、その金額も一律ではない為に、昨年度の金額を参考に算出することになります。

しかし、昨年の決済において黒字であったり、教育還元率が低いとさらに減額されたりと、確定的なものではなく、仮に予測より多額の場合は年度末までに有効に使用できなくて、為に次年度は減額させるという事態になります。(平成18年度)

## 2、支出について

### 人件費について

定年退職や結婚退職が重なり、その補充を非常勤中心にした為に人件費については抑制されているものと思います。

### 修繕費について

S41年以来の校舎の老朽化が目立ち、19年度も下水道工事を余儀なくされています。校長就任以来、漏電、水漏れ、水道管の割れや下水道など、単年度予算でやりくりすることがどこまで可能なことが理事会においてもご一考ください。

### 備品補充について

教育用パソコン(保護者会寄付)について数台の入れ替えが必要となりました。保護者会とも協議をしますが、学校でも相当の収入が必要ですので数年かけて予算化したいと考えています。また、応接セット等については保護者からの中古品寄付や地域のバザーで収入を考えコストの削減を図ります。

以上よろしくご審議お願い致します。